

ショウガ疫病 (*Phytophthora citrophthora*)



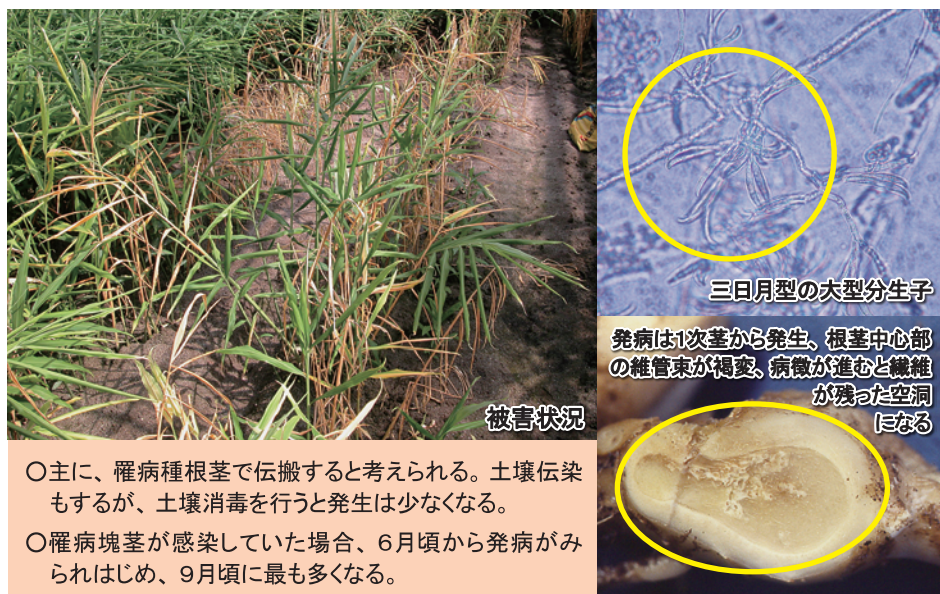
淡褐色、水浸状に腐敗

遊走子のう

被害状況

- 土壌伝染する。また、種根茎でも伝染するので、感染の疑いがある種根茎は定植しない。
- 比較的低温で発病し、ほ場では初夏および秋以降にみられる。また、低温庫で貯蔵中にも病徴は進行する。
- 病原菌は水で運ばれるので、栽培中は排水に努める。また、貯蔵中の散水やたまり水による洗浄により容易に伝染する。

ショウガ立枯病 (*Fusarium oxysporum*、*F.solani*)



被害状況

三日月型の大型分生子

発病は1次茎から発生、根茎中心部の維管束が褐変、病徴が進むと繊維が残った空洞になる

- 主に、罹病種根茎で伝搬すると考えられる。土壌伝染もするが、土壌消毒を行うと発生は少なくなる。
- 罹病塊茎が感染していた場合、6月頃から発病がみられはじめ、9月頃に最も多くなる。